

図-6.1.1(16) 沖積層の濁水注入量と透水係数の関係

・濁水注入量と透水係数の関係 (石灰岩+砂)

琉球石灰岩の上面に層厚10cmの砂を載せた場合の3個の供試体における濁水 (200 mg/L) 注入量と透水係数の関係を図-6.1.1(17)示した。濁水注入量と透水係数の関係は、ばらつきは認められるが、全体的に注入量の増加に従い透水係数は低下する傾向が認められる。これを、直線回帰式で求めると、透水係数  $k_2$  は  $k = -0.00023Q + 0.00596$  で表される。

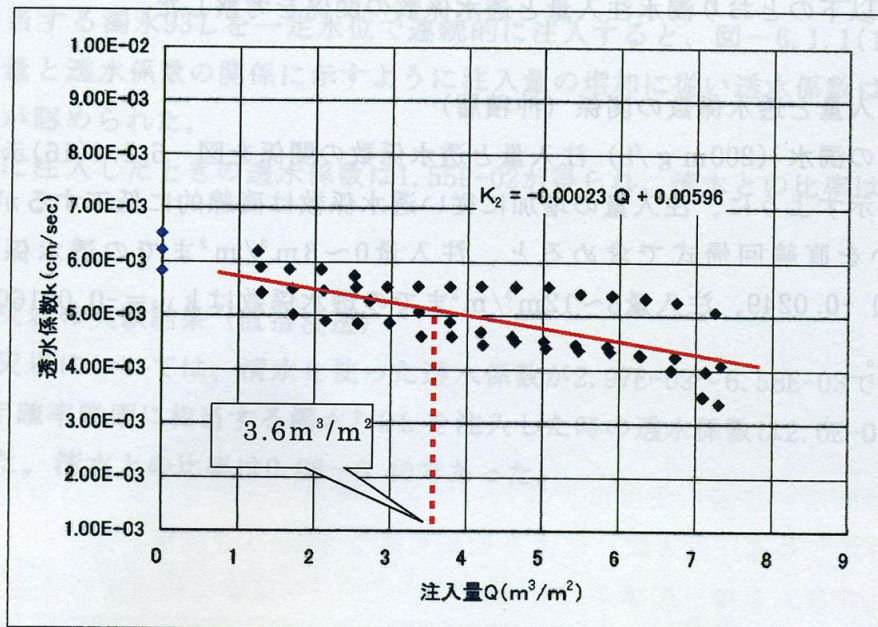


図-6.1.1(17) 石灰岩+砂(10cm)の濁水注入量と透水係数の関係